

地域団体におけるイベントの実態と課題

－「夢前ゆめ街道づくり実行委員会」の事例をもとに－

一宮小葉，津村里穂，西岡ゆき，藤本優鈴，三宅康成

キーワード：地域活性，地域団体，田んぼアート，ナスカの地上絵

1. はじめに

近年，地域の流入人口を増加させるため，県や市だけでなく，地域の人やその関係者がまちの観光促進や地域活性化を目的として団体を設立し，イベントやワークショップ等を企画・運営している。こうした状況の中で，姫路市夢前町では2014年に「夢前ゆめ街道づくり実行委員会」を設立した。そして，現在，書写山ロープウェイや書写山圓教寺における来場者の集客効果を目的に，夢前町にある8haの農地を活かして，世界遺産のナスカの地上絵の実物大を描く巨大田んぼアート作りに挑戦している。

本稿では，全国の田んぼを活用したイベントや夢前ゆめ街道づくり実行委員会の実態を把握し，イベントや実行委員会が地域や人々にどのような影響をもたらしているのか，また，その意義を検討することを目的としている。研究の方法は，全国の事例を文献や資料等によって収集するとともに，夢前ゆめ街道実行委員会代表や書写山ロープウェイ所長にインタビュー調査を実施し，今後，新たな取り組みやイベントを行う上での課題などを考察した。なお，今回の「ナスカの地上絵プロジェクト」はまだ試行的に始まったばかりであり，本イベントの集客効果や経済効果を詳細に検証する段階には至っていない。そのため，本稿では筆者らの実践活動を通してプロジェクトの全容を明らかにするとともに，その影響を考察することとする。

2. 夢街道ゆめ街道づくり実行委員会について

2.1 夢前ゆめ街道づくり実行委員会の概要

夢前ゆめ街道づくり活動の前身は「姫路田園アート実行委員会」（姫路城の平成の大修理をきっかけに，実物大の姫路城田園アートを実施するため集まった組織）であり，2008年から2012年に活動してきた。街道を盛り上げるため，2018年に新たに「夢前ゆめ街道まちづくり実行委員会」を設立し，県道67号線を「ゆめ街道」と名付ける。ゆめ街道とその近隣にある圓教

寺を盛り上げ，人同士がつながりを持ち，地元にあるものを活用して観光客を集めて経済効果を生むことを目的としている¹⁾。夢前ゆめ街道づくり実行委員会が行ってきたこれまでのイベントは以下の表（表1）に示す²⁾。

活動資金は，夢前スマートインターの開設イベントを県民局から依頼されたことをきっかけに県から支援を受けていたが，次第に市からの支援へと移行した。現在はクラウドファンディングやイベントでの利益を活動資金としている³⁾。

2.2 活動の振り返り

姫路田園アート実行委員会設立から15年が経過し，姫路市で元気なまちとして挙げてもらえるなど，これまでの活動が認知されるようになってきている。

今後の展望として，海外の人に興味を持ってもらえるようにSNSなどを用いてイベント等を広報し，実際に来てくれた観光客からさらに広がるようにしたい，今の世代がいなくなっても後継者たちが経営的にゆめ街道で活動できる仕組みづくりを作りたい，と実行委員会では考えている。そのためには，地域の小学校・中学校・高等学校など地域の担い手となる人材との新たな関係づくりが求められている。

3. 全国の田んぼアートの動向

全国の田んぼアートの取組についてその動向を表2に示す。

この表において見られる共通点としては，田んぼアートは地域活性化を目的として実施されており，主催が実行委員会や観光協会など行政だけでなく，民間団体や学生など様々な地域の主体が関わっていることである。また，変遷からは毎年新たな絵を描いていることが分かり，1年限りのイベントで終わるのではなく，その後も継続的に続けていることが読み取れる。そのため，一つの機関に任せきりではなく，様々な地域の主体が関わり合い，協力していることが持続的な活動につながっているのではないかと考える。効果による

面では、イベントによって多くの来場者が訪れ、収入源の一つになっていることがわかる。また、田んぼアートが夏の風物詩になっている地域もあり、田んぼアートの存在によって人々が地域に足を運ぶきっかけになっているのではないかとと思われる。

以上のことから、田んぼアートは地域に人々を呼び込み、収入源を確保することに効果的であるとともに、地域の魅力を再発見したり、人のつながりを感じられたりするきっかけにもなると考える。

表1 夢前ゆめ街道づくり実行委員会主催のイベント

年月日	イベント名	イベント内容	募集人数	参加費	主催・後援・協賛
1. 2015年	夏休みは1万本のコスモスを植えて田んぼに絵を描こう！コスモス面積体験	高速道路の降り口から見たせる田んぼでコスモスの面積体験。絵を完成させる。	50名まで（大人代表者1名以上、2年生以下は保護者同伴）	無料	
2. 2015～2020年	第1回～第6回徳島日本酒プロジェクト	酒米・愛山の田植え、夢乃井にて温泉入浴と食事つき。4月に完成したら、豊後酒造、夢乃井、ヤマサ醸造 夢乃井で販売。ニューサンピア姫路ゆめさきと夢乃井のレストランで提供(2017年開催時)。「自分の酒は自分で作る」のコンセプトで、コロナ禍にはリモートワークで米作りを、秋の収穫時期にみんなで持ち寄り、みんなで育てた玄米が来年の「日本酒プロジェクトのお酒」の原料としてお酒になる。	30名(2017年開催時)	中学生以上4,000円、小学生2,000円、小学生未満無料(2017年開催時)	主催：米産家「ファームハウス」、老舗酒造「豊後酒造」
3. 2017～2019年	第1回～第3回夢前ゆめ児リンピック	【大人部門】泥んこフラッグ、泥陣賽レース、田面ライダーレース【子ども部門】泥んこフラッグ、泥陣賽レース、しっぽとり、田んぼ田んぼ宝探し。幼児は競技参加不可、「田んぼ宝探し」のみ参加可。無料の泥遊び(幼児用)用意。姫路のご当地アイドルやヴィクトリーナ姫路等が司会・実況・競技参加。夢前の食村を楽しめる屋台や優勝賞品やフォトコンテスト・展示も。	参加人数400名(2017・2018年開催時)、800名(2019年開催時)	大人1,500円～3000円、小人1,000円～1500円(中学生・小学生)に変動。当日会場で使える500円金券や温泉割引券等付。幼児・付き添いの親は入場無料で金券なし。	後援：兵庫県立中陽高等学校センター、姫路市スポーツ推進室、姫路市教育委員会。告知に協力できる店舗・事業所募集
4. 2017年	ゆめピクニック2017～未だがり「八」箇所でおすそ分け～	ピクニックとは、ピクニック+サイクリング両方を楽しめる気軽なレジャー。夢前町内にある8つのチェックポイントに立ち寄りスタンプGET。(それぞれの地点で割引券や飲食、おちょこ等プレゼント)スタンプが全部揃ったら、最後にくじを引いて夢前町の特産品をGETできる。(景品総数50個)		自転車レンタル可(書写山サイクルステーション)	
5. 2019年	夢前の新米食べ比べ祭	夢前町の農家が自慢の新米を持ち寄って食べ比べ。収穫した新米9種類が大集合。普段は食べることがない酒米「山田錦」も。(ミルキークイーン、びかまる、歡喜の風、夢の華等)。ご飯のお供コーナー-豊後酒造 社氏がつくる酒粕汁、且種々自家製ハリハリ漬け・くさざ飯、サンピヤ人気土産うにしいたげ・まの子のり、村上ポーターリー 夢美人たまごかけご飯・玉子焼き、夢工房 そばもろみ・醤油餅、ヤマサ醸造 かまぼこ他		大人(中学生以上)1880円、小人(小学生以下)・無料(割引券をお持ちの方は無料)。	参加農家：(有)夢前夢工房、(有)村上ポーターリー、ファームハウス
6. 2020年(複数日)	夢前産葡萄のハーブのコンフィチュール作り体験	コンフィチュールに使う葡萄狩り、且種々へ移動。物がたっぷり！且種々の農家ランチ、葡萄とハーブでコンフィチュール作り。		大人(中学生以上)5,000円(税込) ※且種々のランチ・お土産付き、大人1人につき小学生以下は体験費無料(大人と子ども一緒に1瓶作る)。	コラボレーション：SunSmile小山内農園と農家レストラン且種々
7. 2021～2022年	ゆめさき菜の花プロジェクト(文字入れ・ゆめさき菜の花厄除け祈願祭、コロナ退散祈願祭・夢前ゆめ街道菜の花フォトコンテスト)	「菜の花プロジェクト」は、夢前町玉田地区のお米の収穫が終わった水田に1000万本の菜の花を植え、黄色く咲き誇る2月に圓教寺・大樹寺僧長堂に書いて頂いた 世帯を弘う「衆怨退散」の幅約30m×150mにわたる巨大文字を描く。書写山から見られる。資金はクラウドファンディングで募る。返礼品として祈願祭に参加できる権利。開花時期には写真コンテストも。祈願祭では、グルメコーナーや地場野菜販売も。		無料。文字入れ参加特典:菜の花米のおむすびと特製菜の花和菓子。	幹主催：書写山圓教寺
8. 2021～2023年	第1回～第7回ゆめさき夢ランタン祭り	ランタンに「夢」を乗せてスカイランタンをあげる。LEDランタンにタコ糸をつけて夜空に浮かべ、終了後は各自持ち帰り。2022年よりヘリウムガス入手困難により提灯参拜も。<参加方法>じやらん観光ガイド「遊び・体験」より【ゆめさき夢ランタン祭り2021】から、地域・学生によるカフェや屋台、地元野菜販売会も。ページチェック(野菜摂取充足度)&血管年齢測定チャレンジ”実施。クラウドファンディングによる支援も募る。	年により150個～500個に変動	夢ランタンセット3,000～3800円に変動。夢ちゃんセット1000～3000円に変動。拝観料+志納料+ロープウェイ往復代含む。特典:お土産、ご当地野菜、夢前ぶどう等。	後援：兵庫県、兵庫県中陽県庁センター 協賛：明治安田生命保険相互会社姫路支社、協賛企業多数
9. 2022年	姫路城ピンクスカイランタン	姫路城ライトアップに合わせて、三の丸広場にピンク色のスカイランタンをあげます。申込: https://www.pinkribbonhimeji.org/ の受付フォーム	先着500個	参加費:3,000円(ランタンセット1個)	主催：ピンクリボンひめじスマイルプロジェクト2022 協力：夢前ゆめ街道実行委員会

表2 全国の田んぼアートの動向

年	イベント名	目的	イベント内容	主催	資源	サイト
1	1993年～見頃7～8月 田んぼアート(青森県南津軽郡田舎館村)	地域のお米をアピール	10月から稲刈りを行い、「田舎館村むらおこし推進協議会」で絵柄を決定する。7色(黄・赤・緑・赤・白・橙・黒)の稲11種の苗を育成し、絵おこしの作成、測量、稲取りをする。そして、塗り絵のようになった田んぼを7色11種の稲を使って住民たちが田植えを行う。	田舎館村	1993年「稲文化のむら」J・岩木山 2023年「ONE PIECE」(尾田栄一郎/集英社)	http://www.inakadate-tanboart.net/ https://www.nikkei.com/article/DQXXASFR22H4658A12001101000/ https://www.auntory.co.jp/vhd/prize.sca/detail/20191.html
2	2018年～ ■イベント日:田植え 2019年5月中旬	地域を元気にするため	平成30年度にプロジェクトが始動。1年目は先述地の青森県田舎館村から種もみを取り寄せ、美土里町青地地区で試験作付けを実施。令和元年度は吉田町可愛地区のほづろ、田舎館村から取り寄せた6種の産米の試験作付けを行い、美園に「たかたん」(地域のゆるキャラ)を描いた。	安芸高田市田んぼアート公園整備事業実行委員会	2019年 たかたん(安芸高田市の里山を守る皇子(皇の子)も)	https://www.shikatain/shikata-media-far-public/c9/23/c923c341-6811-45d1-b320-c8d426910e90-2you-hou-c2-3te-i-tan-rb0at09ur0ie0uto.pdf
3	2011年～ ※川場村と東京・世田谷区が結んだ縁組協定が30周年を迎えたのを記念して始まった	農村と都市の交流	広さ15アールの水田をキャンパスに毎年さまざまなテーマで見る人を楽しませている。初めて描んだ田んぼアートは文字がはっきりと浮かび上がり、失敗に終わったが、全国の田んぼアートを模範として回り、一からノウハウを学び、完成度を上げていった。GPSを使った機器の導入で測量技術の向上を実現した。村の予算で運営していたが、行政を離れて民間団体として新たにスタートしたため、資金をクラウドファンディングで調達。	川場村田んぼアート保存会 緑人-enjin	2018年 サッカーW杯 2021年 疫病退散の大わらじ	https://www.shb.or.jp/masabashi/report/article/00015/
4	2011年～見頃:6月～9月初旬 ■イベント日:田植え5月中旬、刈り取り9月中旬	地域おこしのため	古代稲を使用した「田んぼアート」を各地区で描いています。「コウモリ羽はたく」と題して白い稲を使って「コウモリ」を描いている。毎年コウモリであったが、2022年はクマノミであった。5月中旬から約1800平方メートルの田んぼにコシヒカリを植え、稲刈りした部分のコシヒカリを同施設の従業員が抜いた後、穂の色が異なる3品種に植え替えた。穂のコシヒカリを基調に、白は「ゆきあそび」黒は紫黒米、赤は「べにあそび」を植えた。	但馬シルクロード観光協会、シルク温泉やまびこ	2018-2019年コウモリ 2020-2022年はばタン 2023年クマノミ	https://tanos@ar.jp/satsumaspot/tanboart/
5	2009年～見頃:6月下旬-9月初旬～下旬	但馬東大河内(美青年の下)	古代稲でアートを描いています。2009年初めての取り組みで「オオサンショウウオ」、「トンボ」を描きました。田んぼアートといえば、見頃は「秋」なのですが、珍しい「白い稲」は6月下旬に見頃をむかえます。	但馬シルクロード観光協会、大河内創作会 和田会長	2013年セモ 2014年アグハビ 2015年シツバキ 2016年クマ 2017年シマウマ 2018年達磨大餅 2019年とら 2021年アマエ 2022年NO WAR	https://tanos@ar.jp/satsumaspot/tanboart/
6	2019年 見頃8月	田んぼアート(兵庫県丹波篠山市東木之部(太古のロマン)篠山層群の恐竜)	篠山市の活性化だけではなく、化石の認知を風聞していきたいと考えている。	西紀南まちづくり協議会、神戸大学農学実習生、東雲高校実習生(農作業サポート)		https://www.city.tanbasayama.lg.jp/news/2019/tanbasayamamachizukurihoushu/4428.html https://camp-fra.jp/projects/view/142079
7	2021～2022年 6月田植え	田んぼアートプロジェクト(兵庫県香美町香住区三川の休耕田)	稲穂の色が異なるもち米と古代米を植えた。古代米は赤黒、穂に色づき、田植えの際に黄の稲穂になるように苗を配列した。黄の穂の稲穂は、ひらがなの「と」を組み合わせで描いたという。デザインしたトウゴさんの名前も、赤や緑の古代米で、来年3月に閉校する東佐津小学校の校章を浮かび上がらせる予定で、同小の全校児童14人や保護者も参加。全身画だらけになって楽しんだ。	「田んぼアートの会」(駒屋栄治会長)	約千平方メートルの休耕田を使った取り組み。 2021年ヤドカリ 2022年寅 2023年東佐津小学校の校章 (翌年3月に閉校予定)	https://www.hobe-np.co.jp/news/taima/202206_0016441895.shtml https://www.hobe-np.co.jp/news/taima/202209_0015614159.shtml

(出典) 参考文献4)～13)

4. ナスカの地上絵プロジェクトについて

4.1 ペルーのナスカの地上絵について

ナスカの地上絵はペルー南部の広大な砂漠に描かれた巨大な絵のことで、ユネスコの世界文化遺産にも登録されている世界的に有名な遺跡である。1930年代に初めてアンデス高地に向かって飛んだ商業航空機のパイロットたちによって発見された。地上絵が集中的に描かれたナスカ台地は約400平方キロもあり、これは東京23区の約半分の面積に相当する¹⁴⁾。ナスカ台地に描かれている地上絵は大きさもさまざまで、「ハチドリ」「海鳥」「サル」「サギ」「クモ」などが描かれて

おり、最大級の地上絵は300mもの大きさになる。そのなかで、最も有名なのはハチドリ絵である。渡り鳥であるハチドリは、ナスカなどペルーの海岸で確認されており、雨季の前からナスカで見られることから、「水をもたらす鳥」、ひいては豊穡のシンボルとして描かれたと推測されている。

ナスカの地上絵が作られた目的として最も有力な説は「豊穡儀礼説」とされている。これは、乾ききったナスカ台地で農耕を営み暮らすには水こそが最も重要なもので、水をもたらすアンデスの山々に対して豊穡の儀礼が行われ、儀礼行為の一部として地上絵が描かれたというものである。その他にも太陽や月、星の動

きを示した巨大な天体図とする「天文歴説」、地上絵を宇宙人に結び付ける「宇宙人説」などがあるが、謎も多く残っている¹⁵⁾。

このナスカの地上絵には山形大学の坂井正人教授らが関わっている。2004年、坂井教授(当時助教授)の呼びかけで山形大学人文学部は、文化人類学、地理学、認知心理学、情報科学の専門家が集まる「ナスカ地上絵プロジェクトチーム」を発足し、現地調査や地上絵の保存計画の立案などを行ってきた。2006年にはこれまで確認されていない地上絵を100点あまり発見したほか、2012年には現地での研究推進のための拠点として、山形大学ナスカ研究所を開所している¹⁶⁾。人文社会科学部のナスカ研究グループは現在、現地での立ち入り調査を認められている世界で唯一の研究チームとなっている¹⁷⁾。

4.2 ナスカの地上絵プロジェクトを発案するにあたっての経緯

「田園を活かしたイベントをしたい」と考えていた時に「山形大学の坂井教授がAIやドローンを活用して、新たなペルーのナスカの地上絵を発見した」というニュースを見かけて着想を得たと夢前ゆめ街道実行委員会の衣笠さんは話す。山形大学は2022年12月8日に、坂井教授の研究グループが世界遺産「ナスカの地上絵」で知られる南米ペルーのナスカ台地とナスカ市街地付近で、人間や鳥などの新たな地上絵168点を見つけたと発表した¹⁸⁾。調査にはドローンや人工知能(AI)を活用したそうだ。田園を活用したイベントを行いたいという思いと新たなペルーの地上絵が発見されたというニュースによって、ドローンやICT測量技術を活用して実物大のナスカの地上絵を田んぼに描くという新奇性のあるプロジェクトが発案された。さらに、2023年は日本とペルーの外交関係樹立150周年にあたることもプロジェクトを進める後押しとなったそうだ。これを機に、日本とペルーとの国際交流をより深められればという思いが強くなったと言う。このプロジェクトを実施するにあたっては、ペルー大使館に連絡を取り、正式に応援してもらうことになった。

5. 作業レポート

5.1 データと技術の出典

今回のプロジェクトでは、正確なデータとICT技術により、ナスカの地上絵を実物大で夢前の田んぼに浮かび上がらせることを可能にしている。ここでは、そのデータと技術について説明しておく。

まず、データは山形大学の坂井正人教授から提供されたものだ。山形大学は世界で唯一ナスカの現地の立

ち入り調査が許されている機関である。2004年に山形大学で「ナスカ地上絵プロジェクト」が発足してから、研究と保護をおこなう活動を続け、これまでに100点以上ものナスカの地上絵を発見し世界から注目を集めている。このような研究や活動の第一人者である坂井正人教授が今回のプロジェクトに賛同してくださり、実物大のデータをいただくことができた。

そして、正確なデータを田んぼに映し出す技術は有限会社征和建設によるものだ。征和建設は、UAVやレーザーによる3次元測量を行い、短時間で広範囲の計測や、立ち入り困難な場所や有人機では難しい場所での計測を可能にしている。また、地上からはレーザースキャナ計測で、高精度な計測を行っている¹⁹⁾。このような技術を使い、正確なデータを夢前の田んぼにポイントングをしていただいた(図1)。



図1 3次元測量

5.2 作業過程

2023年11月11日に姫路市夢前町玉田畑にて地上絵を描く作業を行った。今回描いたのは、ハチドリ、クモ、サルの3種類である。

当日の作業過程を以下の3つの工程に分けて説明する。

- ①事前に征和建設の測量技術によりポイントングされていた箇所をビニールテープでつなぐ
- ②ビニールテープの上から石灰をまき、ビニールテープを外す
- ③石灰をまいた場所を耕運機で耕し、その上から再び石灰をまく

- ①事前に征和建設の測量技術によりポイントングされていた箇所をビニールテープでつなぐ

割りばしの先に数字が書いてあるビニールテープ（図2）を取り付けたものを、事前に測量技術を使って必要な箇所にポイントングした。そのポイントを数字の順番に沿ってビニールテープでつなぎ、描きたい地上絵を描いた（図3）。ポイントの数はそれぞれハチドリが約200個、クモが約350個、サルが約520個であった。実物大で描くため、ポイントをつなぐ際にたるまないようにビニールテープをしっかり張ることが重要な点であった。



図2 ポイント



図3 ビニールテープ張り

②ビニールテープの上から石灰をまき、ビニールテープを外す

ビニールテープの上から石灰をまき、工程③での耕運機で耕す作業が行えるよう、道しるべを描いていた。石灰は風で飛んでしまうことを考慮し、できるだけ濃く、十分な量を使用した（図4）。また、耕運機が使えるよう、ビニールテープは外し、石灰のみによって地上絵の下書きが描かれている状態となった。

③石灰をまいた場所を耕運機で耕し、その上から再び石灰をまく

工程②でつくった道しるべに沿って耕運機で土を掘っていった（図5）。この作業は、地上絵の跡を十分に残すためのものである。さらにその上から再び石灰をまいたが、これは工程②よりも風や雨によって流れにくい石灰を使用した。



図4 石灰まき



図5 耕運機

以上の3つの工程により、夢前町玉田畑に地上絵の下書きが描かれた。それをドローンで撮影したものを図6、図7、図8に示す。



図6 ハチドリ



図7 クモ



図8 サル

5.3 作業の感想

前日の雨の影響で土が緩んでいたり水たまりができていたりして、ぬかるんでいたため、ポイントが抜けてしまったり、石灰が水で流れてしまったりしたので、スムーズに作業することは難しかった。抜けてしまったポイントの位置は随時確認をして、正確に実物大を描けるように心がけた。また、急に冷え込んだ日だったため、すごく寒く、手がかじかみながら作業を進めた。このように天候には恵まれなかった一方で、実行委員会の皆さんやつながりのある方たちと一緒に、作業内容やその他関係のない話まで、和気あいあいと作業を進めることができ、楽しい時間となった。

作業後にロープウェイで書写山の山頂に上り、上から地上絵が見えるかを確認したが、その際は残念ながらはつきりとは見えなかった。ただ、狙いはレンゲの花が咲くころにきれいに地上絵が浮かび上がることなので、その季節を楽しみに待つこととする。

6. インタビュー報告 I (対象者：夢前ゆめ街道づくり実行委員会代表 衣笠愛之さん)

6.1 インタビューの概要

ナスカの地上絵プロジェクトについて、夢前ゆめ街道づくり実行委員会の代表である衣笠愛之さんにインタビューを行った(表3)。本章では、ナスカの地上絵プロジェクトに関するインタビュー結果を以下の項目に分けて報告する。

- ①苦勞したこと
- ②期待すること
- ③今後の展望

表3 インタビュー概要 I

日時	2023年12月4日
場所	有限会社 夢前夢工房 事務所
時間	約1時間
対象者	夢前ゆめ街道づくり実行委員会代表・衣笠愛之さん

6.2.1 苦勞したこと

ナスカの地上絵プロジェクトにおいて苦勞したことは、2つ挙げられた。

1つ目は「関係づくり」である。ナスカの地上絵プロジェクトの実施にあたって、ナスカの地上絵のデータが必要だった。そこで、衣笠さんは山形大学にて世界遺産であるナスカの地上絵の学術研究と保護活動などを行っている坂井正人教授に協力を依頼することにしたが、関係を作るのには約1か月を要した。また、測量の委託に関しても、現在測量を担っている征和建設

株式会社のほかに、複数の企業に依頼したが、断る企業が多かったようだ。

2つ目は「湿気や雨による湿害」である。地上絵を描くにあたって、土壌の水分量が多いと緩くなり、ポイントが打てない。一度、溝から漏れた水が田んぼに溜まり、乾くまで作業が遅れることもあった。また、線を濃くするために石灰をまいても、雨が降れば流れてしまうため、湿気や雨は大敵だった。

6.2.2 期待すること

ナスカの地上絵プロジェクトに期待することを尋ねると、衣笠さんは「短期間で得ることができる効果は見込んでおらず、長期的な集客・経済効果を期待している」と語った。田んぼにはレンゲを植える予定で、3・4月にはさらなる観光客の増加を見込んでいる。また、ナスカの地上絵の起源であるペルーとの文化交流も考えており、「このプロジェクトが国際交流のきっかけになればよい」とした。

6.2.3 今後の展望

ナスカの地上絵プロジェクトに関する今後の予定として、地上絵祈願祭など関連行事が構想されている。衣笠さんはこの他にもドローンを用いた地上絵の撮影会や夜間における地上絵のライトアップ、絵の一般募集など、新たなアイデアを考えているという。

7. インタビュー報告 II (対象者：神姫バス書写山ロープウェイ所長 西村浩さん)

7.1 インタビューの概要

神姫バス書写山ロープウェイの所長である西村浩さんにインタビューを行った(表4)。本章では、インタビュー結果を以下の項目に分けて報告する。

- ①実行委員会に参加したきっかけ
- ②イベントの効果
- ③イベントの実施における課題

表4 インタビュー概要 II

日時	2023年12月23日
場所	書写山ロープウェイ 事務所
時間	約1時間
対象者	神姫バス書写山ロープウェイ所長・西村浩さん

7.2 インタビュー結果

7.2.1 夢前ゆめ街道実行委員会に加入したきっかけ

書写山ロープウェイは、もともと指定管理者制度によって姫路市から神姫バス株式会社に管理を委託されたものだった。神姫バス株式会社では指定管理に力を入れており、地域の農家や商人とつながりを作り、地元を盛り上げるために会社全体で取り組んでいるとい

う。その結果、書写山ロープウェイの展望台では、書写マルシェやヨガ教室、中学校の吹奏楽部による演奏会など地域イベントの開催地として利用されることも多い。

そして、数年前に衣笠さんが夢前ゆめ街道づくり実行委員会で活動していることを知り、神姫バス株式会社が持つ「地域共栄」というビジョンから、加入する決断に至った。

7.2.2 イベントの効果

夢前ゆめ街道実行委員会の代表的なイベントとして、夢ランタン祭りがある。このイベントは旅行サイトなどから申し込みができたため、県外の人にも夢前町を知ってもらいきっかけとなった。イベントをしているときは地域内外から人が集まるので、「シリーズ化して地域の一大イベントにすれば、さらなる広がりがみられるだろう」とした。

7.2.3 イベントの実施における課題

西村さんは、イベントを実施するにあたって問題となる点が2つあるとした。

1つ目は、「政教分離の弊害」である。書写山にある圓教寺は宗教法人であるため、イベントの際に姫路市からの支援を受けることはできない。圓教寺の拝観料とロープウェイのチケットをセット割引する、という意見も出たが通らず、イベントの実施においても様々な問題が出てくるそうだ。

2つ目は、「圓教寺の文化財」である。圓教寺は、国の重要文化財が13件、兵庫県の指定有形文化財が9件、姫路市の指定有形文化財が3件、というように、多くの文化財がある。よって、イベントの実施にあたって必要な許可取りも複雑化し、イベントによる圓教寺への影響や利益に関する意見も出るようになった。

地域を盛り上げるために様々なイベント・企画を実施したいのが本音だが、しがらみも多い。その中でできることを継続し、名物として地域に根付かせていきたい、と語った。

8. 考察

これまでの章では「実物大ナスカの地上絵プロジェクト」の概要と、それを企画・運営している夢前ゆめ街道づくり実行委員会について述べてきた。実行委員会の代表である衣笠さんの発案で始まったプロジェクトだったが、ペルー大使館や民間企業などといったさまざまな機関と連携しており、その新奇性からも十分な集客効果が見込める。7章でも述べたように、夢前町において実行委員会が開催するイベントは書写山ロープウェイや書写山圓教寺にとって経済的効果や集客効果を持ち、非常に有益であることが分かった。また、

ナスカの地上絵プロジェクトは、5年という長期的計画であることから夢前町における地域活性化の一端を担う名物となり得るだろう。

一方で、夢前町で暮らす人々は農家の占める割合が多いのだが、イベントによって彼らに利益がもたらされているか、というと必ずしもそうとは言えない。現時点では、農家の手が空く冬にはそのようなイベントが開催されておらず、地域の農家が参加したくともできない、置いていかれてしまっている、という現状がある。イベントによる利益を地域全体に還元するためには、イベントを開催するにあたって課題となる「集客」を夢前ゆめ街道づくり実行委員会が担い、イベント内で農作物を売る、地元のものを使った名物料理を作る、などといった農家も活躍できる機会づくりが必要である。地域団体は地域活性化だけでなく、誰もが活躍できる場所づくりと地域と人をつなぐ機会づくりも担っていかねばならない。

謝辞

インタビューに答えていただいた夢前ゆめ街道づくり実行委員会代表の衣笠愛之氏、神姫バス書写山ロープウェイ所長の西村浩氏に対して深く感謝し御礼を申し上げます。

参考・引用文献

- 1) 兵庫県 HP「夢前地域の菜の花プロジェクト」<https://web.pref.hyogo.lg.jp/chk12/senme202103.html>
- 2) ゆめ街道(姫路市夢前町)Instagram ページ(最終閲覧日: 令和6年1月9日)https://www.instagram.com/yumesakiyume_kaido/
- 3) yumekoubo CAMPFIRE ページ(最終閲覧日: 令和6年1月9日)<https://camp-fire.jp/profile/yumekoubo/projects>
- 4) 田舎館村田んぼアートオフィシャルサイト <http://www.nakadate-tanboart.net/>
- 5) 日本経済新聞(2016)「青森・田舎館村の田んぼアート、人気沸騰の裏に悩み」https://www.nikkei.com/article/DGXLASFB22H46_S6A720C1L01000/
- 6) サントリーHP「サントリー文化財団 サントリー地域文化賞」https://www.suntory.co.jp/sfnd/prize_cca/detail/2015t1.html
- 7) 安芸高田市行政サイト「広報 あきたかた 令和2年2月号」https://www.akitakata.jp/akitakata-media/filer_public/c9/23/c923b341-6811-45d1-9d25-e8bf36570c90/2yue-hao-p2-3te-ji-tian-nboatopuroziokuto.pdf
- 8) NHK サイト 前橋放送局「ぐんま WEB リポート」<http://www.nhk.or.jp/maebashi/lreport/article/000/15/>
- 9) 但東シルクロード観光協会 HP「田んぼアート(シルク温泉やまびこ)」https://tantosilk.gr.jp/sightseeing_spot/tanboart/
- 10) 但東シルクロード観光協会 HP「田んぼアート(大河内)」https://tantosilk.gr.jp/sightseeing_spot/tanboart/
- 11) 丹波ささやま写真新聞 <https://www.city.tambasayama.lg.jp/news/2019/tambasayamashashinshimbun/4436.html>
- 12) クラウドファンディング CAMPFIRE <https://camp-fire.jp/projects/view/142076>

- 13) 神戸新聞 NEXT <https://www.kobe-np.co.jp/news/tajima/202306/0016441805.shtml>
- 14) 坂井正人(2023)『新発見のナスカの地上絵』図鑑——目で見る科学 vol.1 https://www.jstage.jst.go.jp/article/tits/28/4/28_4_78/pdf-char/ja
- 15) 「地球の歩き方」編集室(2010)『ナスカの地上絵 完全ガイド』ダイヤモンド社
- 16) 山形大学 HP「プレスリリース」<https://www.yamagata-u.ac.jp/ip/information/press/01-21-3-21/>
- 17) 山形大学 ナスカ研究所 HP「ナスカ研究所について」<https://www.yamagata-u.ac.jp/nasca/index.htm>
- 18) 日本経済新聞(2022)「『ナスカの地上絵』新たに168点発見 山形大学、AI活用」<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF090DU0Z01C22A2000000/>
- 19) SKYLAB 有限会社征和建設 HP「三次元計測」<https://skylab-seiwa.com/surveying>